



赤麻小だより

第30号

平成27年7月17日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

今週になり、梅雨明けを迎えたかと思うほど、強烈な太陽の光が降り注ぎ、熱気を帯びた風が吹き抜ける日が続いていました。台風の影響もあり終業式は荒れ模様の天気。しかし、あかまっ子たちは、暑さに負けず元気に1学期を終了することができました。

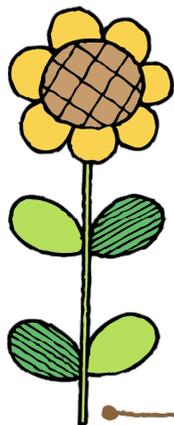
1学期における保護者の皆様、地域の皆様、そしてボランティアの皆様の温かいご支援には本当に感謝いたしております。ありがとうございました。今年の夏休みは、週末の土曜日・日曜日と海の日が、夏季休業の開始日21日につながり、例年より3日ほど長いお休みとなります。ぜひ学校ではできない体験活動や自由研究、学習等には、ご家族や友達と一緒に取り組ませてください。学校では、夏休みに向けた心構えや過ごし方について、学年だよりなどで保護者の皆様にご理解ご協力をお願いしておりますが、一番願うことは、**子どもたちの命の安全**です。

子どもたちが事故に遭わず、けがや病気をせずに過ごし、2学期の始業式9月1日(火)には、全員元気に登校してくることを楽しみにしております。

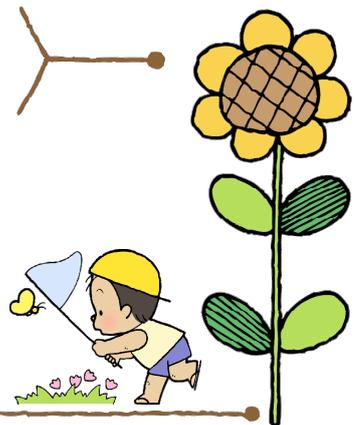


1学期を振り返ってみました

新学期がスタートするに当たり、赤麻小学校のめざす児童像を達成するため、赤麻小の合い言葉について始業式で話しました。様々な教育活動をとおり、成長を感じる4か月となりました。



合い言葉は
『あかまっ子』



あ か ま っ こ	明る	いあいさつ	響く学校
	輝く	笑顔が	あふれる学校
	まっすぐ	な心の	広がる学校
	困難も	不撓不屈で	頑張る学校

(1) 明る

子どもたちは学校で、来客の方やボランティアの方、教師等に、元気なあいさつをしてくれます。校内に「おはようございます」「こんにちは」と響く声は、元気パワーにあふれています。あいさつが響く学校に向かい、また一歩前進しています。

(2) 輝く

数々の行事や教育活動、校外における活動等で、子どもたちの明るい笑顔を見ることができました。もちろん友達とのトラブルや十分に満足することのできない結果に終わることもありました。その時々の子どもの思いと真剣に向き合いながら、心からの笑顔があふれる学校づくりに努めます。

(3) まっすぐ

学年を超えた集団活動や行事で、友だちに優しく声をかける姿や下級生をいた

わり声をかけながら活動する姿、相手の気持ちを思いやり、元気になる言葉を使える子どもたちが少しずつ増えてきました。また、正しいことや当たり前のことが自然にできる子どもたちも、上学年になるにしたがって育ってきています。言葉を大切に使い、まっすぐな心で行動できる子どもが育つ学校づくりに取り組んでまいります。

(4) 困難も不撓不屈で 頑張る学校

子供たちは勉強や運動に限らず、何事にも一生懸命取り組んでまいりました。時には失敗や挫折を味わうこともありますが、次の目標をもち意欲的にチャレンジしようとする子どもたちの姿は、たくましく感じました。粘り強く頑張る不撓不屈の精神を大切にして教育活動に取り組ませてまいりたいと思います。

子どもたちは心も体も頭も柔らかく、日々多くのことを吸収して成長しています。1学期も、言葉は心を相手に伝え人間関係を豊かにする大切な道具であると、折に触れて子どもたちにも職員にも話してきました。また、子どもにとって望ましい集団活動を体験させることが、豊かな感情や心を育て、より良い生活をするための望ましい行動や正しい判断力を育てます。2学期も、明るく、かしこく、たくましい「あかまっ子」の育成を目指し、合い言葉の掲げた学校づくりに、全職員で取り組んでまいります。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を、どうぞ宜しくお願いいたします。



子どもたちの活動から

【1学期もたくさんのボランティアの方にお世話になりました】



〔7/6 藤岡分署によるAED装着研修〕



〔7/7 1・2年生のさつま畑除草活動〕



〔7/13 6年生の水墨画体験教室〕



〔7/14 6年生の手話教室・手話で歌おう〕



1年生も読み聞かせが大好きです!!

本校では、子どもたちの学習活動や教職員研等を充実するため、多くの各種団体やボランティアの皆さんにご協力いただいております。今学期も大変お世話になりました。ありがとうございました。

